

田中 剛・上岡 晃・伊藤司郎・  
今井 登

地球表層部における諸元素の分布を明らかにするため4000 km<sup>2</sup>におよぶ北関東地域(東経140°~141°, 北緯36°20'~37°)を対象として地球化学図が完成された。

試料として用いた河川堆積物は、その上流の化学組成を代表するものと考えられ、河川のすべての合流点において支流側で採取することにより、全流域がカバーできるようにした。

分析法は、ICP 発光分光分析および機器中性子放射化分析を用い、53元素を対象とした。本図では、そのうちNa, P, Ca, Ti, Co, Cu, Ce, Hf, U の9種類の元素についてのコンピュータマッピングにより作成した地球化学図を掲載している。印刷の都合でこの図だけアトラスの中で、例外的に55万分の1の縮尺となっている。

各分析値は、60秒×60秒のグリッドごとに平均化された元素濃度として算出され、それをもとにし

た等濃度線図として表現されている。これに、海岸線や主要稜線も表示されている。いわば、地表の化学情報を図化したものであるといえよう。また、本地域の地質略図(加藤編図)も同縮尺で付け加えられている。

日本地質アトラス(第2版)は、通商産業省工業技術院地質調査所編集、朝倉書店発行で、定価51,500円(本体50,000円)、送料1,000円である。購入希望の方は、下記の同書店あて申し込まれたい。

〒162 東京都新宿区新小川町6-29

振替東京6-8673

電話(03)3260-0141

(文責:地質調査所国際協力室 加藤碩一)

---

Editorial Committee for Geological Atlas of Japan (1993):  
New publication of Geological Atlas of Japan (Second Edition) edited by Geological Survey of Japan.

---

〈受付:1992年11月4日〉

#### 中国・四国地域地質センター閉所のお知らせ

当所の中国・四国地域地質センター(広島市)は、平成5年4月1日付の地質調査所組織の一部改正により、閉所いたしました。

同センターの始まりは、昭和24年9月に大阪支所の出先として広島市に置かれた駐在官で、その後、昭和27年4月に広島駐在員事務所、昭和42年4月に中国出張所、昭和63年10月に中国・四国地域地質センターと改称して調査研究業務を継続し、平成5年3月の閉所に至ったものです。

この間、同センターでは、中国地方に特徴的な地質や地下資源などの研究を精力的に行ってきました。とりわけ戦後間もない頃の炭田開発調査やその後のウラン(核燃料物質)調査、鉄鋼原料(未利用鉄資源)調査などは特筆すべき調査研究であります。そのほか、鉱物資源の研究としてクロム鉄鋼鉱床・タングステン鉱床・ろう石鉱床・珪砂鉱床・ドロマイト鉱床などの研究が行われまし

た。最近では碎石資源調査や本所研究グループの5万分の1地質図幅の研究に協力しています。

これらの調査研究の成果やその過程で得られた鉱物・岩石標本や情報をもとに、相談業務や技術指導にも積極的に対応し、通商産業局をはじめとした行政機関などの鉱業行政や地域社会に寄与してきました。

同センターのこのたびの閉所にあたり、長年にわたってお寄せいただいた御支援・御指導に対し厚くお礼申し上げる次第です。

なお、同センターの所掌業務は、本所(つくば市)及び近畿・中部地域地質センター(大阪市)において継続・実施しています。

本所:地質相談所 TEL 0298-54-3540

近畿・中部地域地質センター:TEL 06-941-5377